

2. 経費支出概要書（経費内訳）
 (1) 経営相談支援事業

熊取町商工会
 (単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	200	5,000,000	/	204	5,100,000	/	100,000	/
支援機関等へのつなぎ	5	50,000		5	50,000		0	
金融支援（紹介型）	5	150,000		5	150,000		0	
金融支援（経営指導型）	30	1,200,000		35	1,400,000		200,000	
マル経融資等の返済条件緩和支援	1	20,000		1	20,000		0	
資金繰り計画作成支援	20	400,000		20	400,000		0	
記帳支援	50	1,250,000		50	1,250,000		0	
労務支援	25	500,000		30	600,000		100,000	
人材育成計画作成支援	1	20,000		1	20,000		0	
マーケティング力向上支援	1	20,000		1	20,000		0	
販路開拓支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
事業計画作成支援	6	300,000		15	750,000		450,000	
創業支援	1	20,000		1	20,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	15	300,000		15	300,000		0	
コスト削減計画作成支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
財務分析支援	5	50,000		5	50,000		0	
5S支援	10	100,000		69	690,000		590,000	
IT化支援	1	20,000		1	20,000		0	
債権保全計画作成支援	1	10,000		1	10,000		0	
事業承継支援	3	60,000		3	60,000		0	
災害時対応支援	96	480,000	179	895,000	415,000			
フォローアップ支援	50	250,000	50	250,000	0			
結果報告	200	2,000,000	204	2,040,000	40,000			
小 計	—	14,200,000	14,195,590	—	16,095,000	16,058,367	1,895,000	1,862,777

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
	20	480,000	/	20	480,000	/	0	/
	12	288,000		12	288,000		0	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
小 計	—	768,000	768,000	—	768,000	768,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	7,423,540	別紙事業調書【変更後】のとおり	5,560,763	/	-1,862,777

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	363,300	別紙事業調書【変更後】のとおり	363,300	/	0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計	/	22,750,430	/	22,750,430	/	0

事業名		くまとり産業フェア事業	新規/継続	継続	
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取町は近隣の市町に比べ町内購買流出が極めて高く、町内商工業の厳しい環境の中で活性化を図るためには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアを実施することにより、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者にアピールすべく、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う。また、本産業フェアを実施するに当たり熊取町と連携を図り、町農業祭と共同開催をする。共同開催することにより農業及び商工業の異業種間交流を深めることができ、事業所の意識の高揚を図り、新たな産業交流が生まれる。連携によりこのイベントを通じて地元農産物を利用して生まれた熊取コロッケ(通称 くまコロ)を地元住民に知って頂くための販売を行う。例年、盛況である大阪府人材育成課・大阪技能士会と連携した「ものづくり体験教室」を令和2年度も引き続き開催し、ものづくりの習得に関心を持って頂き、次世代を担う若者の育成の場を提供するなど、地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会を提供、地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	経営相談支援や各種事業実施の際に要望などがあり、また町の農業祭との共同開催をするため、農・商・工の産業が集結するイベントとして期待を持たれている。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	12月1日(日)中央小学校において、町農業祭との共同開催にて実施。来場者は昨年と同じく延べ7,000人となり、参加企業数43店舗が自店の商品PRや即売など消費者へ積極的にアピールでき、また企業間の交流をするなど販路開拓の事業機会を提供することができ盛況に開催することができ事業所のアピールにも効果的であった。 大阪府技能士会連合会から、4技能士会に参加して頂いた事で、乗馬体験・はしご車登場体験などの体験コーナーの充実、そして若者に対するものづくり体験が実施できた。来場数は昨年と同じであるがイベントを要所で行った為、時間の経過で来場者が減少する事もなく終了時間まで多くの方で会場がにぎわった。			
	反省点	開催時間について、数件の事業所より延長を希望する声があった。令和2年度は熊取町やその他関係団体と調整し、時期的な日照時間を考慮した上で会場の撤去時間等を調整し、少しでも長く事業機会を提供するために開催時間の延長を目指す。また、事業のワンパターン化を防ぐため、会場内装飾品等の備品見直しにより、会場内の雰囲気改善し集客力向上を目指す。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするか	人材育成型	くまとり産業フェア&農業祭 開催時期 12月6日(日)開催予定 場 所 熊取町立中央小学校			
	人材交流型	出店企業 40社 熊取町と連携を図り、産業フェアと農業祭の共同開催を行い、農・商・工の産業が集結し、企業間交流・情報の受発信や消費者との交流を図り、自社を積極的にアピールする場としてイベント等を実施する。			
	販路開拓型				
	ハズオン型	スケジュール 6月～11月 会議 9月下旬 出店募集開始 11月 町広報掲載 11月下旬 新聞折り込みチラシ			
	独自提案型				
		<input checked="" type="radio"/> (a)府施策連携	<input checked="" type="radio"/> (b)広域連携	<input checked="" type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果

事業名		くまとり産業フェア事業		新規/継続	継続
明確に)	事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	(a)府施策連携労5番(産業祭・物産展・ものづくり教室) 大阪府技能士会連合会と連携したものづくり教室を開催し、技術等の周知を行う。 (b)広域連携 泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会で連携を図り、出店者を募り、町内外からの来場者を見込む。参加事業所による商品PR・即売・商談等の機会を提供、新規顧客の獲得や企業PRに役立て、より有効的な展示手法や展示の内容等を提案し、事業所からの相談等に対応する。 (c)市町村連携 熊取町と連携を図り、町広報、町関係施設へのチラシ配架等を行う。			
事業 の 目 標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	熊取29社、泉南3社、阪南3社、岬2社、忠岡3社の40社の商工業者が出店予定。募集は、DM・機関誌・町広報・ホームページ等にて募る。		
		40			
	支援対象企業の変化	本フェアに参加することにより自社製品・商品のPR、販売、ニーズ調査等の情報収集も実施でき、今後の製品・商品開発の一助となり、また新規顧客の獲得、販路開拓などの事業機会が増え活性化が図れる。			
		指標	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数	数値目標	28社
その他目標値	目標値の内容⇒	出店企業40社×100人の来店者			
	4,000				

事業名		くまとり産業フェア事業					新規/継続	継続	
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		⇒ 50,500 円 ×		40 ×		1.00 =	2,020,000 円		
		50,500 円 ×		4,000 ×		0.01 =	2,020,000 円		
	(小計)							4,040,000 円	
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円	
	計							4,040,000 円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)								
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等				
		②受益者負担		円	負担金の積算				
○		(a)府施策連携	○	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果		
標準事業費		補助率			(①市町村等+②受益者負担)				
2,020,000 円 ×		0.75 =			1,515,000 円	(円)			
2,020,000 円 ×		1.00 =			2,020,000 円	(円)			
合計					3,535,000 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
	○	熊取町商工会	2,710,000 円		出店企業数により配分 熊取町 29社 泉南市 3社 阪南市 3社 岬町 2社 忠岡町 3社				
		泉南市商工会	225,000 円						
		阪南市商工会	225,000 円						
		岬町商工会	150,000 円						
		忠岡町商工会	225,000 円						

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		くまとり産業フェア事業	新規/継続	継続	
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>熊取町は近隣の市町に比べ町内購買流出が極めて高く、町内商工業の厳しい環境の中で活性化を図るためには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアを実施することにより、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者にアピールすべく、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う。また、本産業フェアを実施するに当たり熊取町と連携を図り、町農業祭と共同開催をする。共同開催することにより農業及び商工業の異業種間交流を深めることができ、事業所の意識の高揚を図り、新たな産業交流が生まれる。連携によりこのイベントを通じて地元農産物を利用して生まれた熊取コロッケ(通称 くまコロ)を地元住民に知って頂くための販売を行う。例年、盛況である大阪府人材育成課・大阪技能士会と連携した「ものづくり体験教室」を令和2年度も引き続き開催し、ものづくりの習得に関心を持って頂き、次世代を担う若者の育成の場を提供するなど、地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会を提供、地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催中止を決定しました。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	経営相談支援や各種事業実施の際に要望などがあり、また町の農業祭との共同開催をするため、農・商・工の産業が集結するイベントとして期待を持たれている。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>12月1日(日)中央小学校において、町農業祭との共同開催にて実施。来場者は昨年と同じく延べ7,000人となり、参加企業数43店舗が自店の商品PRや即売など消費者へ積極的にアピールでき、また企業間の交流をするなど販路開拓の事業機会を提供することができ盛況に開催することができ事業所のアピールにも効果的であった。</p> <p>大阪府技能士会連合会から、4技能士会に参加して頂いた事で、乗馬体験・はしご車登場体験などの体験コーナーの充実、そして若者に対するものづくり体験が実施できた。来場数は昨年と同じであるがイベントを要所で行った為、時間の経過で来場者が減少する事もなく終了時間まで多くの方で会場がにぎわった。</p>			
	反省点	<p>開催時間について、数件の事業所より延長を希望する声があった。令和2年度は熊取町やその他関係団体と調整し、時期的な日照時間を考慮した上で会場の撤去時間等を調整し、少しでも長く事業機会を提供するために開催時間の延長を目指す。また、事業のワンパターン化を防ぐため、会場内装飾品等の備品見直しにより、会場内の雰囲気改善し集客力向上を目指す。</p>			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするか	人材育成型	くまとり産業フェア&農業祭 開催時期 12月6日(日)開催予定			
	人材交流型	場 所 熊取町立中央小学校			
	販路開拓型	出店企業 40社 熊取町と連携を図り、産業フェアと農業祭の共同開催を行い、農・商・工の産業が集結し、企業間交流・情報の受発信や消費者との交流を図り、自社を積極的にアピールする場としてイベント等を実施する。			
	ハンズオン型	スケジュール 6月～11月 会議 9月下旬 出店募集開始 11月 町広報掲載 11月下旬 新聞折り込みチラシ			
	独自提案型				
		○ (a)府施策連携	○ (b)広域連携	○ (c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果

事業名		くまとり産業フェア事業		新規/継続	継続
明確に)	事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	(a)府施策連携労5番(産業祭・物産展・ものづくり教室) 大阪府技能士会連合会と連携したものづくり教室を開催し、技術等の周知を行う。 (b)広域連携 泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会で連携を図り、出店者を募り、町内外からの来場者を見込む。参加事業所による商品PR・即売・商談等の機会を提供、新規顧客の獲得や企業PRに役立て、より有効的な展示手法や展示の内容等を提案し、事業所からの相談等に対応する。 (c)市町村連携 熊取町と連携を図り、町広報、町関係施設へのチラシ配架等を行う。			
事業 の 目 標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	熊取29社、泉南3社、阪南3社、岬2社、忠岡3社の40社の商工業者が出店予定。募集は、DM・機関誌・町広報・ホームページ等にて募る。		
		40			
	支援対象企業 の変化	本フェアに参加することにより自社製品・商品のPR、販売、ニーズ調査等の情報収集も実施でき、今後の製品・商品開発の一助となり、また新規顧客の獲得、販路開拓などの事業機会が増え活性化が図れる。			
		指標	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数	数値目標	28社
その他目標値	目標値の内容⇒	出店企業40社×100人の来店者			
	4,000				

事業名		くまとり産業フェア事業					新規/継続	継続	
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費			
			50,500 円 ×	0 ×	1.00 =	0 円			
			50,500 円 ×	0 ×	0.01 =	0 円			
			円 ×	×	=	円			
	(小計)								円
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)								円
	計								円
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)								
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等				
		②受益者負担		円	負担金の積算				
○		(a)府施策連携	○	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果		
標準事業費			補助率		(①市町村等+②受益者負担)				
0 円 ×			0.75 =	0 円	(円)				
0 円 ×			1.00 =	0 円	(円)				
合計				0 円	(円)				
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)				
	○	熊取町商工会	0 円		出店企業数により配分 熊取町 ○社 泉南市 ○社 阪南市 ○社 岬町 ○社 忠岡町 ○社				
		泉南市商工会	0 円						
		阪南市商工会	0 円						
		岬町商工会	0 円						
		忠岡町商工会	0 円						

【備考】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、令和2年度の本事業の実施を中止いたします。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

熊取町商工会

事業名

くまとり産業フェア事業

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

40

支援企業
数(実績)

0

支援
実績率

0.0%

【参考】
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

新型コロナウイルス感染症の拡大状況の中、くまとり産業フェア事業の開催に向けて本実行委員会において協議に協議を重ねて参りましたが令和2年12月3日（金）第31回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議で大阪モデルのレッドステージ（非常事態）1の期間（12月4日～15日）への移行の正式発表があり大阪府民においては「できる限り不要不急の外出を自粛する」内容の報告を受け開催中止を決定いたしました。

中止理由として、第31回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議で大阪モデルのレッドステージ（非常事態）1の期間（12月4日～15日）への移行、新型コロナウイルスを講じながらも会場内に不特定多数の方が集まりること。また熊取町においても感染者数が増加傾向にあること等を総合的に判断し、中止を決定したものです。

【支援効果】

未実施のためなし

【今後の改善方策】

令和2年度は開催中止。次年度以降については今後とも市行政等関係機関と協議を重ねていきます。

【経費内訳】

くまとり産業フェア中止決定が開催日令和2年12月6日（日）の2日前であったため事前の準備等に掛った経費

1,002,540円（出店者経費）+95,318円（来場者経費）＝

1,097,858円（全体経費）

【補助金対象金額】

1,002,540円×75%+95,318円＝

847,223円（補助金額）

詳細内訳については別紙明細